

矢作川流域圏懇談会

令和4年度 市民部会 ふりかえり

令和5年1月27日（金）

4.(3) 市民部会の活動進捗報告

令和4年度の当初目標

- 流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和4年度の活動スケジュール

市民部会の活動として、WGを3回、まとめの会を1回実施した。

活動 (参加者数)	日 時	場 所
第12回WG (15名)	5月19日 (木) 13:00-15:30	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第13回WG (14名)	6月21日 (火) 14:00-16:00	・豊田市崇化館交流館3階 第2研修室
第14回WG (16名)	7月20日 (水) 13:30-15:40	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第4回市民部会 まとめの会 (〇名)	1月27日 (水) 14:00~16:30	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室

※参加人数はオンライン参加者、事務局含む

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和4年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

<今年度に活動目標①：流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。>

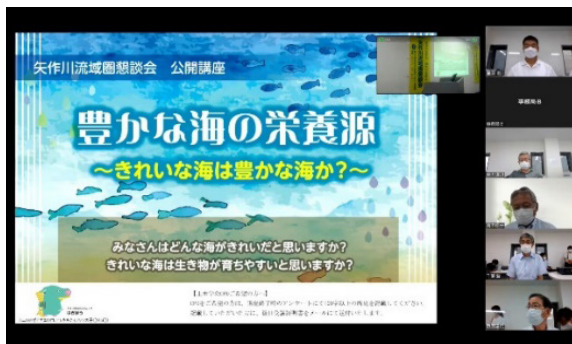
○ 流域全体に関わる課題について、下記のテーマが挙げられた。

- ・「47災害から50年」
- ・「三河湾の水産資源」
- ・「上下水の市民科学」
- ・「栄養循環・物質循環」
- ・「農業と環境」
- ・「マイクロプラスチック第2弾」
- ・「ネオニコチノイド系農薬第2弾」



第12回市民部会 話し合いのようす

○ 上記テーマのうち、「三河湾の水産資源」や「栄養循環・物質循環」にかかわるテーマについては、過去に海部会で議論がなされており、海部会でも情報発信をしたいという意見が出ていたことから、「豊かな海の栄養源」をテーマとして海部会主催の公開講座を開催するよう提案を行った。市民部会では、昨年度に2つの公開講座を実施しているため、公開講座の進め方や留意点等について、海部会関係者に共有した。



公開講座の様子 (左：オンライン配信 右：会議室)

「豊かな海の栄養源～きれいな海は豊かな海か?～」

開催時期：8月20日(土) 15:00～17:00

講師：京都大学名誉教授 藤原 建紀 氏

参加者：140名

YouTube再生数：158回再生 (1月20日時点)

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和4年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

<今年度に活動目標①：流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。>

- 昨年度開催した2つの公開講座と現在の懇談会の課題等をふまえ、矢作川流域圏において重要な生業である「農業」に着目した。
- 「農業」に関する公開講座開催のためには、まずは市民部会員内での認識の共有が必要であるとされた。
- 今年度は、「農業」についての勉強会を市民部会で実施し、認識の共有をはかった。主に、「みどりの食料システム」と「冬水田んぼ」を話題としてとりあげ、「農業」に関する勉強会を行った。



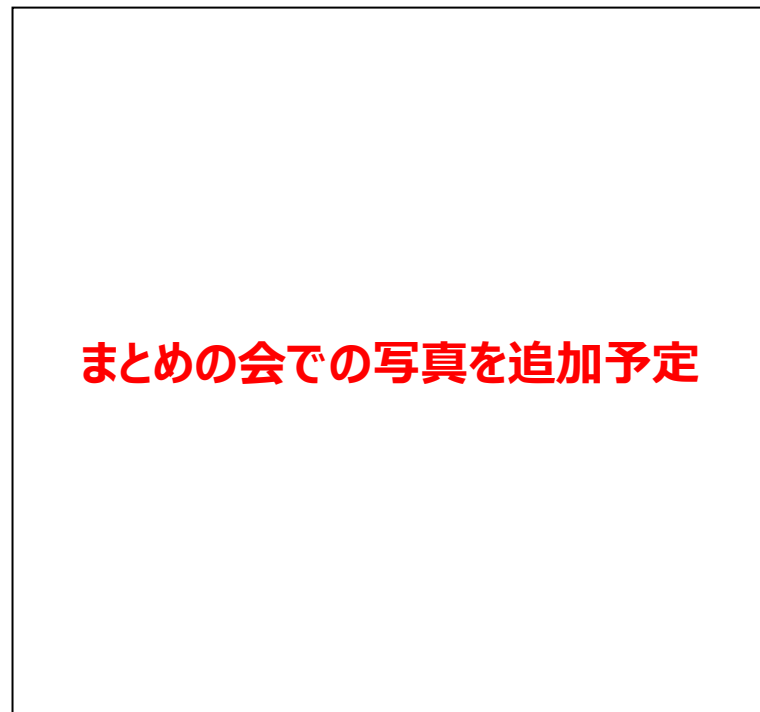
「みどりの食料システム戦略」勉強会
～みどり戦略を知ろう、考えよう～
2022.7.20 松沢孝晋

- 1: 農業をテーマとした経緯
- 2: 「みどり戦略」を知る
- 3: 流域圏懇談会活動に関連する「みどり戦略」の取組
- 4: みどり戦略の流域への展開について
- 5: 公開講座に向けて

<参考資料>
・みどりの食料システム戦略(本体) (令和3年5月 農林水産省)
・みどりの食料システム戦略 参考資料 (農林水産省)
・どう考える? 「みどりの食料システム戦略」 (農文協ブックレット)
・水田の昆虫誌 イネをめぐる多様な昆虫たち (矢野宏二書 東海大学出版会)

1/27

第14回市民部会 内部勉強会「みどりの食料システムについて」



まとめの会での写真を追加予定

市民部会まとめの会 「冬水田んぼについて」

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和4年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

<今年度に活動目標②：地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。>

- 昨年度の計画を踏襲し、再度日程調整を行うとともに、地域部会において内容の再検討を行った。次年度、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、再度設定・実施する。

【名称】山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー

【計画日】9月2日(金)・9月9日(金)の2日間、各々日帰りとして計画

【想定参加人数】50人程度

⇒新型コロナ感染防止のため、再度延期とした

1日目 9/2(金)

時刻	場所	詳細	関係部会
8:45集合	愛知環状鉄道新豊田駅	産業文化センター側	
9:00出発	西口 ロータリー		
	↓	移動(60分)	
10:00到着	水源涵養モニタリング調査サイト	水源涵養モニタリング調査サイトの成果報告(60分) 解説者: 蔵治光一郎様 (豊田市大洞町)	山部会
11:00出発			
	↓	移動(60分)	
12:00到着	奥矢作レクリエーションセンター 体育館 (恵那市串原)	奥矢作移住定住促進協議会の活動報告(40分) 解説者: 大島光利様 (奥矢作移住定住促進協議会 会長)	山部会
13:20出発			
	↓	矢作ダムを見ながら マイクロバスで移動(60分)	川部会
14:00到着	阿摺ダム (豊田市富田町)	阿摺水力発電所の紹介(45分) 解説者: 北井和人様 (中部電力(株)愛知水力センター 副長)	川部会
14:45出発			
	↓	移動(15分)	
15:00到着	阿摺ダム下流部 (豊田市富田町)	天然アユの生態調査の成果報告(60分) 解説者: 山本敏哉様 (合同会社TSJネイチャー)	川部会
16:00出発			
	↓	移動(30分)	
16:30到着	愛知環状鉄道新豊田駅		
16:35解散	西口 ロータリー		

2日目 9/9(金)

時刻	場所	詳細	関係部会
8:45集合	愛知環状鉄道新豊田駅	産業文化センター側	
9:00出発	西口 ロータリー		
	↓	移動(10分)	
9:10到着	アユのための再生事業 (豊田市千石町)	アユのための再生事業について(30分) 解説: 矢作川漁業協同組合	川部会
9:40出発			
	↓	移動(15分)	
9:55到着	鵜の首狭窄部周辺 (豊田市秋葉町・野見町)	鵜の首地区水位低下対策の事業説明(30分) 解説: 国土交通省豊橋河川事務所	川部会
10:25出発			
	↓	移動(20分)	
10:45到着	家下川 (豊田市榊塚東町)	家下川でのこれまでの取り組みについて(45分) 解説者: 鶴田博嗣様 (豊田市郷土資料館 学芸員/家下川リバーキーパーズ)	川部会
11:30出発			
	↓	移動(60分)、昼食・休憩(40分) (道の駅にしお岡の山)	
13:10到着	矢作川浄化センター (西尾市港町)	矢作川流域下水道の概要について(60分) 解説: 青山純一様 (西三河建設事務所 都市施設整備課 課長補佐) 蒲原聡様 (愛知県水産試験場 場長)	海部会
14:10出発			
	↓	移動(30分)	
14:40到着	東幡豆漁協 (西尾市東幡豆町)	三河湾のアサリ等の漁業量の現状について(60分) 解説者: 石川金男様 (東幡豆漁業協同組合 組合長)	海部会
15:40出発			
	↓	移動(20分)	
16:10到着	名鉄西尾駅東口		
16:15出発			
	↓	移動(60分)	
17:15到着	名鉄西尾線西尾駅東口、 愛知環状鉄道新豊田駅		
17:20解散	西口 ロータリー		

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和4年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

＜今年度に検討した目標③：農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。＞

○ 市民部会員を中心に、農業従事者や大学関係者新たなつながりを広げた。

	組織		関わった懇談会員など
農業関係	東海農政局		井上氏
	エコネットあんじょう		事務局
大学関係	四日市大学	千葉先生 学生2名	近藤氏
	人間環境大学	谷地先生 江口先生	三ツ松氏 高橋氏
	京都大学	藤原先生	海部会
	信州大学	学生3名	山部会
その他	奈佐の浜プロジェクト		ミライ会議
	西三河南部生態系ネットワーク		川部会
	多摩川流域懇談会		ミライ会議



第65回山部会FW



根羽村に学生を招待



多摩川流域懇談会との意見交換会

矢作川流域圏懇談会

令和5年度 市民部会 活動目標

令和5年1月27日（金）

4. (3) 市民部会の次年度の活動目標 (案)

次年度の活動目標 (案)

- 流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

今後の市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

矢作川流域圏懇談会

令和4年度 流域連携イベント

令和5年1月27日（金）

4. (3) 流域連携イベントに関する成果 | 令和4年度の活動成果

流域連携イベントに関する成果として、下記4つのイベントに参加した。

イベント	日 時	場 所
第14回“いい川”・“いい川づくり” ワークショップ	9月2日（金）～4日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター
2022年矢作川感謝祭	9月8日（日）	仙石公園（豊田大橋下）
第9回三河湾大感謝祭	10月9日（日）	一色さかな広場 特設会場
中部のいい川WS	11月12日（土）～13日（日）	長野県上伊那郡宮田村 村民会館

4. (3) 流域連携イベントに関する成果 | 令和4年度の活動成果

① 第14回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ

- 「矢作川流域圏懇談会 “流域はひとつ、運命共同体”」と題し、矢作川流域圏懇談会の概要説明とこれまでの活動内容、各地域部会の課題や目指す姿などについて、発表した。



矢作川流域圏懇談会
“流域はひとつ、運命共同体”

矢作川流域圏懇談会とは
「矢作川流域圏懇談会」は、河川管理者が河川整備計画の枠組みだけでは解決できない課題に対して、市民、李職者、行政と様々な組織や機関が連携・協働し、流域圏全体の発展につながることを目指し、平成22年8月に設立しました。
本懇談会は、「市民部会」・「地域部会(山・川・海)」で構成され、それぞれの部会が設定した課題について、その解決方法を探るために話し合いや現地視察などの活動を行っています。
また、令和3年度には、「懇談会活動を活性化させる目的で新たに「部会連携調整(ミライ会議)」を設置しました。現在は、各部会の進捗状況の共有や、継続して活動していくための企画を検討しています。

矢作川流域のゆるキャラ
はぎぼう
シルエットは矢作川流域の形にちなんでいます!

懇談会の最近の活動と目指す姿
新型コロナウイルスを逆手に取った取り組み
・オンライン公開講座の開催
令和4年度は、本懇談会で流域全体の課題となっていた「マイクロプラスチック」および「ネオニコチノイド系農薬」が及ぼす環境への影響について、2000回による公開講座を開催しました。
今年度の月には、「海の栄養塩不足」に関する公開講座を開催しました。

地域部会(山・川・海)の課題
山部会
・人と山の課題
山域における若者の就業機会の少なさ、定着率の低さ、過疎化・高齢化の進行
・森林の課題
管理不足で過密化した水消費型森林や放置人工林からの土砂流出・崩壊の危険性の増加
川部会
・上下流問題
多様な物理環境と生物生態環境の創出、土砂供給不足の問題
・地先の課題(地域の人々と川との関係)
河川空間の利用・保全のあり方
海部会
・海の生き物をとりまく課題
ごみの問題、豊かな海の再生、栄養塩不足の問題
・海と人の課題
海と人の絆再生、干潟・ヨシ原再生

市民部会の課題
・矢作川の望ましい姿のイメージの可視化
・市民視点による流域連携ゲームの議論
・地域部会の課題・課題を把握できるシステムの構築
・10年間で新たに生み出された課題や問題の明確化
・今までつながらなかった農業・工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～新たに!「流域はひとつ」生命共同体～

ふりがな 川や水辺の名称	やほすけつ 矢作川(矢作川水系)	矢作川流域圏懇談会 “流域はひとつ、運命共同体”
所在地	愛知県・岐阜県・長野県	
応募者名(ふりがな) 所属団体名	量 難介(ほし) こうすけ 矢作川流域圏懇談会	

② 2022年矢作川感謝祭

- メインステージにて矢作川流域圏懇談会の活動紹介を行い、活動内容や意義を参加した人たちに知ってもらった。また、「矢作川に関する意見募集」を行い、会場の皆さんから矢作川に対する様々な思いを伺った。



4. (3) 流域連携イベントに関する成果 | 令和4年度の活動成果

③ 第9回三河湾大感謝祭

- 矢作川の情報発信を目的としたクイズの出題と、矢作川に関するアンケート、魚のペーパークラフトの配布を行った。また、根羽村森林組合による「木でできた弓矢の的当て」と「根羽村のスギを使った表札作り」を出展した。



④ 中部のいい川WS

- 今回が初となる本ワークショップでは、各団体の課題などについて、発表をとおして情報共有を行い、パネルトーク、エクスカージョンへ参加した。

